



2018年11月7日

各位

会社名 株式会社Ubicomホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 青木 正之
 (コード番号: 3937 東証第一部)
 問合せ先 執行役員コーポレート本部長 豊福 政博
 (TEL. 03-5803-7339)

2019年3月期第2四半期(累計)および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年8月9日に公表いたしました2019年3月期第2四半期連結累計期間、ならびに2018年5月14日に公表いたしました2019年3月期の通期業績予想および2019年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 1,693 | 170 | 183 | 99 | 8.86 |
| 今回修正予想(B) | 1,694 | 284 | 293 | 204 | 18.11 |
| 増減額(B - A) | 0 | 113 | 110 | 104 | |
| 増減率(%) | 0.1 | 66.6 | 60.2 | 104.5 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期) | 1,545 | 135 | 156 | 95 | 8.59 |

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------------|-------|------|------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 3,621 | 454 | 480 | 281 | 24.96 |
| 今回修正予想(B) | 3,525 | 490 | 512 | 328 | 29.07 |
| 増減額(B - A) | △95 | 36 | 31 | 46 | |
| 増減率(%) | △2.6 | 8.0 | 6.6 | 16.5 | |
| (ご参考)前期通期実績 (2018年3月期) | 3,208 | 322 | 355 | 212 | 19.08 |

(修正の理由)

当第2四半期においては、売上高は、ほぼ前回の修正予想通りの見込みであるものの、グローバル事業の新規顧客を中心とした案件受注の伸長、およびメディカル事業の主力パッケージソフトウェアをはじめとする製品・サービスの受注の伸長によるストックビジネスの進展、想定を上回る円高傾向での推移による営業費用の圧縮、ならびに全社におけるコスト管理の徹底により、当期第2四半期（累計）の営業利益は2018年8月9日に公表した前回の修正予想を113百万円上回る284百万円（+66.6%）、経常利益は前回の修正予想を110百万円上回る293百万円（+60.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回の修正予想を104百万円上回る204百万円（+104.5%）となる見込みです。

通期の連結業績予想につきましては、以上の第2四半期までの状況を踏まえ、第3四半期に見込まれる確度の堅い案件のみを積み上げたうえで、第3四半期および第4四半期における不確実性を慎重に織込んで再度見積もりを行った結果、現時点では、売上高は2018年5月14日に公表した予想を95百万円下回る3,525百万円（△2.6%）、営業利益は同予想を36百万円上回る490百万円（+8.0%）、経常利益は同予想を31百万円上回る512百万円（+6.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は前回の修正予想を46百万円上回る328百万円（+16.5%）となる見込みです。なお、今後の業績推移に応じて業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 個別業績予想

(1) 2019年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（2018年4月1日～2018年9月30日）

| | 売上高 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|------|------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 491 | △133 | △128 | △11.43 |
| 今回修正予想(B) | 461 | △120 | △69 | △6.16 |
| 増減額(B - A) | △30 | 12 | 59 | |
| 増減率(%) | △6.2 | - | - | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期) | 470 | △153 | △113 | △10.26 |

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(修正の理由)

グローバル事業におけるフィリピン子会社と顧客との直接契約の増加により、当第2四半期（累計）の売上高は、2018年5月14日に公表した予想を30百万円下回る461百万円（△6.2%）でしたが、本社を中心としたコスト管理の徹底などから、経常損失は同予想を12百万円下回る120百万円、さらに連結納税対象の子会社の業績が堅調に推移することに伴う個別税金費用の抑制により、四半期純損失は前回の修正予想を59百万円下回る69百万円となる見込みです。

通期の個別業績予想につきましては、現時点では2018年5月14日に公表した予想数値を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。